## 科目区分:自然科学

授業科目名 化学の基礎 (有機化学の基礎)						学期	曜日	校時		
英	語	名	Basic Chemistry (Basic Organic Chemistry)							
担 教	官	当名	河野 功 袁 徳其 石原 淳	単位数	2 単位	必修 選択	選択	後期	水曜日	I校時
			拉 光	n h E	11	山 宓	' . 士 注			

法 のね L١ 囚 谷 万 5

生きていることを感じ、自然に耳を傾けるとそこに化学の声がします。化学は自然界を理解するための学 問の基礎であり、自然を理解する万能のツールです。しかし、万能と言うにはヒトにとっては未だ未解明 のことが多々あります。化学がどのように自然界に、人間社会に関わっているかを理解するため基礎的な 有機化学を学習し、人間社会に関わる一つの例としてくすりになる動植物について紹介します。

## テキスト、 等 教 材

教科書は特になし。プリント、スライド等を用いて講義する。

定期試験、および日常の学習態度を考慮して評 全学部 価します。	対 象 学 生	成績 評価の方法	教 官 研 究 室
	全学部		

授 業 計 画

- 有機化学の基礎の基礎:原子の構造、共有結合、有機分子の形、分子の表記法 第1回
- 第2回 官能基と有機化合物の分類:官能基、異性体等の概念および各種の化合物の構造
- 第3回 アルカンとエネルギー源:燃焼等の反応およびエネルギー源としての応用
- 第4回 ハロアルカンと環境問題: 求核置換や脱離等の化学反応および日常生活との関わり
- 第5回 アルコールと健康: 合成、酸化反応、酸・塩基としての働き、体内における反応等
- 第6回 芳香族化合物研究の歴史
- 芳香族化合物における求電子置換反応について 第7回
- 芳香族環を不活性化する置換基と活性化する置換基 第8回
- 第9回 ベンゼン、その工業原料としての重要性
- 第10回 立体異性
- 第11回 自然界のくすり
- 第12回 幾つかのハーブのお話
- 第13回 自然界の毒
- 第14回 海で作られるくすり
- 第15回 定期試験